

無量壽

浄土真宗物語 ⑳

平成 26 年 1 月 1 日

浄土真宗 本願寺派

林徳寺 発行

025 - 276 - 3456

蓮如上人当時の本願寺を焼き討ちしたのは、天台宗の本山である比叡山延暦寺の衆徒（僧兵）でした。

一方、同じ天台宗の中で比叡山と常に争いをくり返していたのが、園城寺です。現在も滋賀県大津市にある天台寺門宗の本山で、別名を三井寺と呼ばれています。

平成 13 年 3 月に 20 名ほどの団体で本山参拝を致しましたが、この旅行で三井寺をお参りしました。

弁慶が引きず

ってきたという

巨大な釣り鐘で

よく知られてい



弁慶の引摺り鐘

るお寺です。三井寺は、仲の悪い延暦寺に追われているというので、蓮如上人一行をかくまってくれました。そこで三井寺 五別所の一つ近松寺境内の一角に坊舎を建立して、ここに、本願寺から命からがら持ち出すことができた親鸞聖人のお木像（御真影といいますが）を安置する事ができました。この坊舎は、西本願寺の近松別院となつて今に続いています。大切な御真影を安心なところに安置することができたことから、将来本願寺を再興した際には返却してもらおうことを約束して、蓮如上人は北陸地方を新たな拠点とすべく、布教の旅に出られました。このとき蓮如上人は 57 歳であったと言われていて、林徳寺住職が現在 57 歳ですが、とても新たな挑戦をしようなどとは思えません。ましてや人生 50 年も怪しい、五〇〇年以上も前の時代のことです。蓮如上人の気力には驚かされます。結果としては、この北陸への布教が現代

の浄土真宗の隆盛を作り出したと言つて良いのです。比叡山による本願寺焼き討ちがなければ、浄土真宗は京都の小さなお寺を本山とする、弱小の宗派であり続けたかもしれませぬ。世の中というものは、まさに「万事塞翁が馬」ということわざの通りだと言えます。

蓮如上人は、現在の福井県あわら市吉崎の地に、吉崎御坊と呼ばれる坊舎を建て、ここを拠点に布教活動を続けられました。それまで荒地だった吉崎はたちまち巨大な街となり、蓮如上人も驚くほどの群衆が参拝したと言われています。

今も吉崎には、東・西両本願寺の別院な



吉崎西別院

ど多くの寺院や、高村光雲の四大作の一つとも言われる、蓮如上人の巨大な銅像などがあり、参拝者が絶えません。

結婚式 特集



平成25年7月28日、住職の長女、恵里子が結婚しました。

家内の実家は、上越市板倉区針の浄覚寺という同じ浄土真宗本願寺派のお寺です。

このお寺の近くに、親鸞聖人の奥様 恵信尼様のお墓があります。恵信尼様はこの辺りに生まれ、そして亡くなったと言われています。

長女は家内が実家に帰って出産しましたので、恵信尼様の里で生まれたと言っても良いかと思いい、恵里子と名付けました。

この娘が成長して、京都の大学で知り合ったのが結婚相手の飯田将吾さんです。

そして結婚後は、飯田さんの勤務地である茨城県笠間市で、暮らしています。



築地本願寺にて

板倉で生まれ、京都で知り合った男性と結婚し、笠間で生活するというのは、まさに恵信尼様の人生そのままです。ありがたいご縁でした。結婚式は、東京の築地本願寺で行いました。本堂にパイプオルガンを設置して

あったり、ステンドグラスがあったりと、国内では非常に珍しいお寺で、西本願寺の全国唯一の直轄寺院です。



築地本願寺にて

◆◆◆
 続いて、平成26年の5月31日(土)に、住職の長男(林徳寺の後継予定者)が結婚式を行います。式は林徳寺本堂にて、両家の親類及びお付き合いの深い御寺院方の参列で、行う予定です。
 午前10時からを予定しておりますので、ぜひ御門徒の皆様にもお出でいただき、本堂の回廊や境内にて、式の様子を見届けていただければと、お願い申し上げます。

SSS

翌日の、6月1日(日)には、御門徒の皆様への披露の席を設けさせていただきます。
 午前12時より、会場はホテル イタリア軒になります。

ります。

後日正式なご案内を差し上げますが、市内各地より無料の送迎バスを会場まで走らせる予定です。是非ともご出席をいただきますよう、お願いいたします。

ホテル イタリア軒では、林徳寺のお檀家に生まれ、住職とは小・中学校の同級で親友でもある、窪田秀行氏が総料理長を務めておられます。その縁で披露宴の場を決めさせていただきました。きつとご出席くださる皆様には、総料理長監修の料理に、満足していただけることと思っております。そのほかちよつと変わった余興も行いたいと考えておりますので、どうぞご期待ください。

長男と結婚してくださるのは、奈良県にお住まいの大堀家の次女で友希さんという方です。お寺の生まれではないのですが、現在、長男とともに僧侶となる勉強を、京都ですべてしてくれます。なれないことにも、精一杯の努力で取り組んでくれる、得がたい人だと、慶んでいます。どうぞよろしくお願いたします。



長男と友希さん(平成25年春、林徳寺境内にて)

ともに僧侶となる勉強を、京都ですべてしてくれます。なれないことにも、精一杯の努力で取り組んでくれる、得がたい人だと、慶んでいます。どうぞよろしくお願いたします。